

凍結切片作製装置（クリオスタット） 仕様書

1 機器構成

- (1) 病理検査用クリオスタット
 - ・ライカ CM 1860 UV 1台
 - ・丸型試料チャック 37mm 10個
 - ・凍結包埋皿 浅型大 10個
- (2) 全自動免疫染色装置（シリアル限定）
 - ・ライカ BOND-MAX 1台
(S/N : M211827)

2 性能、機能等の要求要件

- (1) 試料とナイフの接近を外部操作パネルよりモーター駆動で行えること。
- (2) 試料の方位調整は、ゼロポジション機能により、すばやく設定出来ること。
- (3) 替刃専用ホルダー（CE ナイフホルダー）を装備し、ワンタッチで替刃の交換及び位置調整が可能なこと。
- (4) 替刃の取り外しが替刃インジェクターにより安全にできること。
- (5) ステッピングモーターによる高精度試料送り機構で安定した切片が採取できる。
- (6) 庫内を0～-35℃まで設定が出来る冷却機能があること。
- (7) 独立表示式コントロールパネルで操作ミスを減らすことが出来ること。
- (8) 内蔵型 UV 照射処理システムでチャンバー内の汚染を最小限に抑えることが出来ること。
- (9) 本体表面に Ag Protect（抗菌ナノシルバーコーティング）処理がされていて、バクテリアの成長を抑えることが出来ること。
- (10) 霜が付きにくく、清掃が容易にできる格納型マイクロームであること。
- (11) 霜取機構は、ホットガラス方式を採用し、短時間で霜取りができること。
- (12) リトラクション機構を有すること。この機構により切削後、試料の上昇時にナイフ裏に接触しないため、試料表面を傷つけることがなく、またナイフの寿命も伸ばすことができ、より良質の切片の作成が可能である。
- (13) 既存のφ37mm用の凍結包埋皿と、これに使用できる試料台が各々10個付属すること。